

みなみちた 議会だより

第121号

平成19年11月1日



師崎の祭礼

◇9月定例議会

「22議案を認定・可決」	2ページ
「委員会スポット」	3
「町の考えは・一般質問4氏」	4

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18
発行/南知多町議会 ☎65-0711
編集/議会広報特別委員会 FAX65-0694

住民福祉の向上を目指し

各種の施策を実施

平成18年度決算を認定

9月定例議会は、9月6日に開会、十六日間の会期を経て、町長提案の十七議案を認定・可決しました。

また、請願二件を採択し、意見書三件を可決して、21日に閉会しました。

その主なものの概要を、お知らせします。



▲豊丘小の運動会

議案の審議結果

(○)全員賛成で可決 ○賛成多数で可決 ×否決

決算関係議案

- 平成18年度一般会計決算認定
- 平成18年度国民健康保険特別会計決算認定
- 平成18年度老人保健特別会計決算認定
- 平成18年度介護保険特別会計決算認定
- 平成18年度漁業集落排水事業特別会計決算認定
- 平成18年度師崎港駐車場事業特別会計決算認定
- 平成18年度水道事業会計決算認定

予算関係議案

- 平成19年度一般会計補正予算(第二号)
- 平成19年度国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

- 平成19年度介護保険特別会計補正予算(第一号)

条例関係議案

- 安全なまちづくり条例制定
- 政治倫理の確立のための町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例
- 情報公開条例等の一部を改正する条例
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

その他の議案

- 新たに土地が生じたこととの確認
- 公有水面の埋立てに伴う字の区域の変更
- 人権擁護委員の推薦

請願

意見書

請願

- 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める請願

- 悪質商法を助長するクレジットカードの被害を防止するための、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める請願

意見書

- 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書
- 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書
- 道路整備の促進と財源の確保に関する意見書
- 最低賃金の引き上げを求める意見書
- ×原爆認定基準の抜本的改善を求める意見書

委員会 スポーツ

▽総務文教委員会△

平成18年度一般会計決算認定

問

まちづくり推進事業費については七件の事業があるが、補助額に差があるのはなぜか。

答

補助額については、ハード事業が一〇〇万円、ソフト事業が二〇万円の限度額となっているが、事業によってはハードとソフトが混在しているものもあり、予算の範囲内で事業費に基づいて按分して支出した。

問

外国語英語講師派遣委託料の内容はどのようなものか。

答

外国人講師を派遣することで、外国語の語学力向上を図るとともに、給食も一緒に食べるなど異なる文化に触れることができる。一日五時間で、小学校には年間二七日、中学校には年間四〇日派遣した。

問

私立学校授業料補助金の内容は、どのようなものか。

答

私立高校に通う生徒の授業料に対する補助であり、一人一万円という基準である。該当者一五人にお知らせし、交付申請された九八人に補助したものである。

▽建設厚生委員会△

平成18年度一般会計決算認定

問

藻場再生モデル事業は、どのような内容か。この事業で藻場の再生状況は見られたか。また、藻場の再生は漁業の町として必要と考えるが、今後の予定はどうか。

答

藻場再生モデル事業は、国が全国的に発生している「磯焼け」の対処方法のガイドラインを策定するため、国の補助を受け愛知県と共同で、平成16年度から平成18年度までの三年間、アイゴ等の食害防除の対処方法等の調査研究を実施した。

食害防除試験として行った防護網の設置は、アラメ藻場の再生に効果が得られるという結果が出たが、当事業は試験事業のため、藻場の再生までには至っていない。今後のこの事業の実施について

問

篠島診療所管理運営補助金として、篠島診療所分六〇〇万円、日間賀島診療所分一〇〇万円を、それぞれ支出している。

今後、両島の運営について、どのような方針で取り組む考えか。

答

今後とも、島民が島で安定した医療が受けられることを重点に取り組んでいきたいと考えている。

あわせて、実施計画の策定などにおいて、公費の効率的な執行に努力していきたいと考えている。

では、引き続き国・県が作業方法等さらに有効な手法の開発研究を行っているので、その動向を見ていきたい。

一般質問

- 1 番 相川成三議員 (1) 両島住民の負担軽減
(2) 小規模事業にも県補助を
- 2 番 相川靖朗議員 (1) 町民のささやかな要望
- 3 番 石黒充明議員 (1) 夢づくり委員会について
(2) セールスマン町長について
(3) やる気の出る組織づくりについて
- 4 番 木村清美議員 (1) 公的施設の有効活用とバリアフリー化

両島住民の負担軽減



相川成三議員

問

住む所によって行政上のサービスの格差、地域格差があつてはならないが、本町の財政力を考える時、私も悩んでしまう。解決策を考える上で、直近年度の次のことを知りたい。

ア、島の水道事業について平成18年度分の海底送水管（佐久島も含め）の修繕費、維持管理費はいくらか。国・県の補助額は、一般会計からの繰入額は。
イ、漁業集落排水事業の総事業費と財源内訳は。
ウ、ゴミ収集事業の1t当たりのコストについて、両島と陸地側の額は。
エ、学校給食費の輸送費と国県町の負担割合は。
オ、両島住民・学童等に対する交通費（船賃）の負担額、国県町の負担割合は。

答

酒井総務部長

ア、海底送水管の修繕費は九七万五千元。維持管理費は約八三〇万円。国県町の補助金はない。次に一般会計から水道事業への補助金は、離島に限り、南知多町一色町より補助を受けている。

平成18年度は合計五千一七〇万四千円でこの二分の一の二千五八五万二千円の補助をそれぞれ両町より受けた。

イ、漁業集落排水事業の18年度末までの総事業費は、二六億三千二六一万四千円。国費一億七千五六五万円（四四・六六%）県費五億五千八二四万一千円（二一・二〇%）町費六億八千八八八万五千円（二六・一七%）負担金二億九八三万八千円（七・九七%）となっている。
ウ、18年度実績で両島の1t当たりのコストは四万七千六七二円、同じく陸側は一万八千六八八円となっている。
エ、学校給食費の輸送費は一千九万九千二百円で国県の補助はない。

問

オ、18年度の両島民の海上交通費の助成額は一千九八一万二千余円。県町それぞれ二分の一の負担で、国からの直接の補助はない。

東京都は九つの島をかかえ、総務局の管轄の下、島に置かれた支庁を通じ都直轄同然で時間的にも財政的にも島民に有利に機能していると聞く。私は南知多町から両島を切り離せというのではない。県は知多事務所等地方の事務所の機能を縮小しつつあるが地方の機能を縮小するばかりが能じやない。佐久島も含めた三河湾三島に県の支庁を置いてもらったら、島民の生活や事情が直接分かってもらえ、島民に有益になると思う。今年度も、佐久島への海底送水管の修繕費が五千三〇〇万余かかっている。これらの予算的支援について、事務的レベルでは限界があり、県会・国会に対して政治的・法的な働きも望まれる。

答

平成の大合併が進んだ現在、県として積極的に地域振興を展開する地域が限られてき

たが、今後あらゆる機会をとらえて国や県に両島に対しての支援を求めて行く。

問

毎年度始め、町内各地域から土木事業等の要望が上げられる。町単独事業の箇所数と総額はいくらか、小規模事業についても県の補助金がもらえるよう努力してほしい。

答

小久保建設経済部長

平成19年度の要望は、三三六か所、概算工事費は、約三億五千万円になる。このうち本年度事業予定は三二か所、総額五千六〇〇万円である。土木事業全てにおいて、県補助事業の対象となるかどうか採択基準を考慮して実施しているので、ご理解とご協力をお願いする。

小規模事業にも県補助金を



▲町道 3046 号線（豊浜）

町民のささやかな要望



相川靖朗議員

問

避難標識の増設。災害防止は町民の安全、安心を図る観点から町政の緊急かつ最優先の施策であると考え、町内各地に指定している緊急避難場所の案内標識が少ない、積極的に増設は。

答

酒井総務部長
災害時の避難場所については、地震・火災時の避難広場として小中学校のグラウンドや公園など二六か所、台風など風水害時の避難所として小中学校の体育館や公民館など二七か所、各地区に一か所を地区の活動拠点となる「地区拠点基地」を定めている。平成18年度には津波避難誘導標識三〇基、地震火災時避難広場標識十一基、緊急時の一時的な避難施設として津波避難ビル標識二〇基を整備した。宝くじ協

会の助成で太陽電池式の避難誘導標識二基、市街地表示式避難地案内板五基を設置、19年度には、立看板式の案内標識を町内五〇か所に設置予定である。必要な箇所には順次整備していく。住民等への避難場所の周知については、昨年4月に町内を九地区に区分した津波避難防災マップを全世帯に配布した。町のホームページにも掲載し日頃から避難場所等が確認できるように町広報等で更なる周知に努める。

問

耐震診断調査の拡充。

木造家屋の多い当町内の耐震診断調査は町民に家屋の安全、安心について非常に関心を深めている。今後もこの調査を拡充させ防災に強い町づくりの一翼を担う必要があると考える。現時点までに依頼件数は…もつとPRが必要ではないか。

答

小久保建設経済部長
民間木造住宅耐震診断に

については平成15年度から無料耐震診断及び耐震改修工事費の助成等耐震化の促進を図っている。耐震診断は対象戸数（昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅）約三千五〇〇戸に対し平成15年度から18年度までに一一五戸実施した。本年度は8月末までで二〇戸の申し込みがあり愛知県建築士会と委託契約を締結し診断調査中である。現時点で5か年合計で一三五戸である。耐震改修工事は18年度までに一二戸施工されている。現在の募

問

町役場に駐輪場の設置。

集については年度始めに町広報と各戸への回覧で対応している。今後は通年で回数を増やし、より多くの方が耐震診断を実施できるようにPRを考えて行く。

問

正面玄関の階段の改良。

庁舎屋外にある階段は急勾配であり、安全面から公共施設の階段として適切な施設とはいえない。急勾配を解消させる改良工事を早急に進めたい。

答

庁舎正面玄関前の階段は、高低差が大きく、お年寄りには大変きついものであると思う。急勾配を解消するには敷地の条件等もあるもので、可能かどうか検討していく。なお、今年度、庁舎の耐震補強工事により、正面玄関横のスロープが新しくなったので住民の皆様にご利用いただきたい。



▲町役場正面玄関

夢づくり委員会について



石黒充明議員

問

町長自ら一番やりたいたい事業と申して、いた夢づくり委員会が、予算もついでないがどこまでやる気があるのか。

答

沢田町長 地域から出てきたものに対し、側面から支援していく、町民主導型の活動で自費でやつてもら。町に即した事業なら応援する。

問

他力本願のような回答ですが、町長自ら、誰を担当職員にし、こういうメンバーで委員会を構成し、いつ頃からこういうことをしようとしているから私についてきなさいというくらい逼迫力のある考えはないのか。

答

来年から実施したい。内容については構想中である。

セールスマン町長について

問

今までにどんなセールスをしてきたか。

答

沢田町長 中部空港で三六分講演をし、観光振興に努めた。道路の件で東京に一度行って来た。地下鉄で移動し岩崎邸に行くと大変貴重な建物を見てきた。地下鉄の車内には岡山の間人を作った観光宣伝が一面に貼られていて参考になった。

問

就任以来約八か月、具体的なセールス効果が見えてこない。大変残念だ。町民はあのマニフェストを見て、こう

いう町長ならすごいと思う。南知多町に住んで良かったと思われるような町にしたいなら、もっと積極的に県国どこでも走り廻って、真剣に命がけで町政に取り組んでほしい。セールスマン町長として、どんな内容、目的でどんな交渉をしたか、はっきり答えられるようなセールスマン町長になっていただきたい。

答

動きが悪いということであるので、肝に命じておく。これからの南知多をどうしていくのかお答えする。私はこれから中国の観光客誘致を考えている。海のない中国の人達に南知多に来てほしいと思っている。観光大使の事も考えてい

る。朗報がある。柔道大会でずっと育て上げてきた大井の山本さんであるが、佐賀国体に愛知代表で出場。第六二回秋田若杉国体にも東海四県の代

表で出場した。だから、子育て支援、教育に力を入れていきたい。

やる気の出る組織づくりについて

問

どんなメンバーで構成されているのか。また、人事異動はここで決めたのか。

答

沢田町長 今五人ずつの係長以下の職員グループで面談の場を持ち意見交換をしている。組織は副町長がいなくてまだ出ていない。職員はだんだんやる気が出てきつつある。

問

組織づくりが一番大事だと思うが、まだ出ていないということとは残念でならない。人事の異動はしたが、機構は変わっていないじゃないか。部長待遇とか、次長を作っただけでその人達の仕事は増えたのか。今どういう構想をもっているのか。

答

副町長が決まっていけないので、まだ出ていない。南知多町は小さいけどキラッと光る町、町民のボランティア精神で住みよい南知多、一度ならず二度三度と訪れたくなるように町民の力でしていきたい。

公的施設の有効利用と バリアフリー化



木村清美議員

問

高齢者や障害を持つ人も誰もが外出ができ、食べる事と同時に大事なトイレを快適に利用できる施設が必要である。本町に公的施設は何か所あり、そのうち障害者トイレは何か所あるか。

答

酒井総務部長

本町に公共施設は全体で六三か所であり、そのうち、障害者トイレの設置は八か所である。内訳として、役場保健センター一か所、社会教育・体育施設六か所、学校施設一か所（豊小）で、まだ十分なものとは言えないので今後各施設の状態を判断し検討する。

問

内海小学校外トイレについて、かなり異臭もして、職員や父兄からも何とかしてほしいという声が多い。

答

日比教育長

昭和60年頃検討したことがあるが、本当にひどいトイレだったので、現在のようにしてきた。来年の校舎耐震補強工事のおりにお金が残れば建て替えができるかもしれないが、他の学校との兼ね合いもある。

問

師崎港観光センター
↑ 出入口の段差改

答

小久保健建設経済部長

師崎港観光センターは昭和50年6月に完成し両島及び鳥羽方面への海の玄関として、島民を始め観光客の利用が多く、特に観光シーズンは混雑す

修とトイレの洋式化及びバリアフリー化、センター内の有効利用を考えていないか。



▲ 師崎港観光センター

ほどの施設として利用されている。一階と二階の一部は名鉄海上観光船の出札・売店・事務室などとして営業している。二階の食堂と和室については地元の方が平成12年に利用者減少などで撤退された。今後の施設の有効活用は施設の耐震工事を含めた全体的計画の改修に併せ検討する。施設内のバリアフリー化は、裏・表玄関の出入口はスロープになっており扉の

ところの段差解消を進めているところである。

師崎港観光センターは老朽化が進んでいるとともに、耐震補強工事をする建物で、障害者トイレの整備についても、現在のままでは出入口に構造的な問題がある。

問

学校の送迎が終わるとスクールバスはあいている。その合間に町民のために利用する考えはないか。

答

沢田教育部長

スクールバスは、登下校時における児童の

送迎に利用するために導入するものである。また、通学に支障を来たさない範囲内であれば、学校が実施する学習活動や、教育振興に関する行事、その他、警報発令時など緊急時に帰宅させる場合に利用していきたい。

有効利用については、通学時の送迎などの目的を達成するためには制約が生じ、有効利用が可能かという問題がある。

なお、スクールバス導入事業として申請しており運用にかかる経費について、交付税に算定されるにあたりスクールバスとしての位置づけである必要がある。

したがって、現段階では、学校や教育以外への多目的利用はできないものと考えている。

表紙の写真

師崎のお祭り

この祭りがいつ頃始まったのかは定かでないが、現在使われている神輿の台の裏には、天文二十年に修理したとの記載があるので、その神輿は、何と四五六年以上前に作られたものと想定されます。お祭りは、山車や振り奴等、各々の趣向をこらした大名行列を組み、一日目は、神霊を羽豆岬の本社から、東方のお旅所たひしよに遷うつして祀まつり、翌日、本殿に還御かえりまします。

この長い歴史のある師崎のお祭りを、大切に守り続けたいものです。

議会日誌

《8月》

9日 県町村議会広報研
修会
20日 県議長会理事會
21日 知多地区農業共済
事務組合定例議
27日 会
29日 議会運営委員会

《9月》

4日 議会全員協議会
6日 9月定例議会（初
日）
12日 建設厚生委員会

22日 県議長会理事會
23日 議会広報特別委員
29日 県議長会定期総
30日 会
31日 定例郡議長会
1日 常任委員会合同行
政視察

18日 総務文教委員会
21日 9月定例議会（最
終日）
議会広報特別委員
会

※次回の定例議会は12月7日開会予定です。
お気軽に傍聴に来てください。

（※知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、12月23日（日）午前10時と24日（月）午後10時の予定）

編集室より

「議会だより」は、年四回の定例議会を中心に、南知多町の議会活動をわかりやすくお伝えすることを目的に発行していますが、紙面の配置・文章など毎回反省することはあります。

地方分権の時代といわれ、「議会のあり方」についても、住民の目は、厳しいがあります。今後とも、町民の皆様方には、よき意見を寄せただき、町政に反映出来るよう努力していきたいと思えます。

（K・K）

皆
の
声
を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後のご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

この「議会だより」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。